

～健康でかがやく子～

- 自ら学ぶ子 (知)
- 豊かであたたかい心をもつ子(徳)
- 健やかに成長する子(体)
- 共に生きる子(公)
- 広い視野のもてる子 (開)

<b>学校 教育 目標</b>	～健康でかがやく子～					
<b>学校 概要</b>	創立 51 周年	学校長 荒井 健	副校長 井上 和浩	2 学期制	一般学級: 20	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 660 人		主な関係校: 篠原中学校・六角橋中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	篠原中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力> ・協働的に課題解決に取り組む姿勢等 <心身ともにたくましく生きる力> ・健康な生活を実践する態度等 <自分づくりに関する力> ・地域を愛する気持ち、自己肯定感等	篠原中学校 篠原小学校 港北小学校	○自己肯定感をもち、未知のことへ主体的にかかわる子ども ○他者への感謝の気持ちが育ち、自らも社会貢献する子ども ・ブロックでの公開授業研を通して、教育課程や指導内容の見直しを図ることで、小中連携の一層の充実を図る。 ・中学生の地域への参画状況を紹介し、地域への参加意識・参画意識を高める。 ・篠原中学校生徒との交流を通して、中学生への尊敬や感謝の気持ちを育てる。

<b>中期 取組 目標</b>	○ 豊かな学びの環境づくりと授業の充実への取組を組織的に進め、子どものよりよい成長を実現していきます。 ○ 一人ひとりの気持ちに寄り添うとともに、「共有体験」を大切にした教育活動を展開することで、子ども一人ひとりが安心して豊かに学校生活を送ることができるようにします。 ○ 「健康貯金ファイル」などの健康教育の推進を通して、自らの健康の保持増進を図ることができるようにします。 ○ 地域と連携した教育活動を通してまちを愛する心を育てるとともに、将来自らも社会貢献していこうとする意識を育みます。
-------------------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>豊かな心</b>	①全校たてわり遠足やたてわり集会、たてわり給食等の充実を通して、異年齢同士のつながりを築くようにする。また、毎朝の登校班での交流を通じた育ちの意義を再確認する。②積極的な声かけにより、あいさつの日常化を図る。③「共有体験」を大切にした教育活動を展開し、自尊感情を高める。
<b>健やかな体</b>	①「健康貯金ファイル」を通じた取組をより有効に継続し、様々なテーマでの保健指導を推進していく。②縄跳び集会などの機会を生かし、体力づくりに取り組む。③保護者と連携し「睡眠と心の健康」について考えていく機会を多くもつようにする。④栄養職員と連携し、食に関する指導を充実させる。
<b>特別支援教育</b>	①学生ボランティアの依頼等を通して、限られた人員の中でのサポート体制の維持・継続を図る。②研修を充実し、特別支援教育への視野をさらに広げ、日常の指導に生かせるようにする。③ユニバーサルデザイン教育の理解を深め、教室環境の改善を継続して行う。
<b>生きてはたらく知</b>	①TT指導、教科担任制など多くの教員が関わる授業形態を、学年の実態に応じ、効果的に取り入れていくことで基礎・基本の定着を図る。②算数科を通じた重点研究に取り組み、授業力と学級経営力を高め、児童の自己表現力を育成する。③地域の材を生かした生活科や横浜の時間の充実を図る。
<b>児童生徒指導</b>	①「西小ルールブック」の確認と見直しを随時行い、適切な指導につなげる。②毎月の職員会議で、児童理解に関する情報共有の場を設定し、指導内容や対応方法の共通理解を図る。③日常観察やいじめ調査を通して、児童の状況を的確に把握し、組織的に素早く支援していく。
<b>地域連携</b>	①年4回の地域・PTA行事(ディキャンプ・すこやか祭り・ハッピーランド・音楽交流会)への全教職員での分担参画を継続する。②地域コーディネーターとの連携をより深め、「ポプラ隊」を中心とした教育ボランティアへの協力依頼を積極的に行い、教育活動のさらなる充実を図る。
<b>公共心と 社会参画</b>	①地域行事やPTA行事などへの児童の参加意識を高めるとともに、それぞれの行事を支えてくださる方々への感謝の気持ちを育てる。②登下校時を見守っていただいている地域・保護者の方々へ、あいさつで感謝の気持ちを伝えられるようにする。
<b>教育環境整備 (図書)の整備)</b>	①学校司書、図書ボランティアの方々と連携し、図書室環境・読書環境のさらなる整備を進め、児童の読書への意欲を高める。②図書館だより等、図書館からの発信をさらに充実し、校内はもとより、家庭での読書推奨にもつなげる。
<b>いじめへの対応</b>	①いじめに関するアンケートや、教育相談を行う。②「特別の教科道徳」において、自己を見つめ、より多角的・多面的にとらえ、自らの考えを深める力を育む学習を行う。③人権に関する研修の充実により、教職員の人権感覚・人権意識を高め、児童の人権感覚・人権意識の向上につなげる。
<b>人材育成・ 組織運営 (働き方改革)</b>	①重点研究と、メンターチーム研修を無理なく両立させ、学年、ブロックを中心とした授業力向上と人材育成につなげる。②学年主任会で、各学年の課題解決の方策をとともに探ることを通して、人材育成と個人への負担軽減を図る。③教育ボランティアへの協力依頼、専門業務の業者委託、会議の精選と効率化・ペーパーレス化等を進め、教職員の過負担軽減につなげる。